

助成金申請書 (別紙様式1-A)

○申請書の記入方法

○令和4年度子どもゆめ基金助成金申請書の記入例及び記入要領

○令和4年度子どもゆめ基金助成金申請書の様式

提出書類チェックリスト

提出書類に不備があった場合、審査できないことがありますので、よくご確認の上、ご提出ください。

<必須>

※【別紙様式 1-A】は、その 1～その 4 の 5 枚で一組となります。複数件申請される場合は、その 2-1～その 4 を件数分揃えてください。

申請書 【別紙様式 1-A】	<input type="checkbox"/>	その 1 「総括表」	1 枚のみ作成
	<input type="checkbox"/>	その 2-1 「活動計画表-1」	件数分を作成
	<input type="checkbox"/>	その 2-2 「活動計画表-2」	件数分を作成
	<input type="checkbox"/>	その 3 「収支計画表」	件数分を作成
	<input type="checkbox"/>	その 4 「団体概要」	1 枚のみ作成し、 件数分をコピーして同封

<該当する場合のみ>

その他必要書類	<input type="checkbox"/>	協力を得る団体の名称、団体概要、担当部署及び連絡先 協力を得る具体的な内容 (A 4 用紙 1 枚)	活動の種類が「経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動」の場合で、 P. 12 2. ②に該当する団体の場合
	<input type="checkbox"/>	カリキュラム表 (様式は P. 55 掲載)	活動の種類が「指導者養成」の場合
	<input type="checkbox"/>	「全国」及び「都道府県」規模で 5 年間を越えて継続して行う活動の見直し内容 (A 4 用紙 1 枚)	該当する場合 (P. 7 参照)
	<input type="checkbox"/>	指導者・講師のプロフィールおよび単価設定の根拠となる理由書 (A 4 用紙 1 枚)	特別指導謝金 (P. 20～21 参照) を支出する場合
	<input type="checkbox"/>	その他添付資料	申請書に別紙参照と記載した場合

申請書の記入方法(別紙様式1-A)

【記入の留意点】

- (1) 申請書は、子どもゆめ基金ホームページ (<https://yumekikin.niye.go.jp>) からダウンロードするか、冊子の様式をコピー (A4) してお使いください。
提出の際は、事務処理の都合上、必ず片面印刷としてください。
- (2) 申請書をパソコン等で作成する場合、枠の大きさの変更や1つの様式が複数枚になっても構いません。ただし、記入項目とその順序は変更しないでください。
また、手書きで記入される場合は、黒のペン又はボールペンを使用し、楷書で記入をお願いします。
- (3) すべての書類 (様式・別紙等添付資料含む) には、**団体名**を必ず記入してください。
- (4) 申請書は、「記入例」(⇒P. 30～44 参照) を参考に、記入要領に注意して作成してください。
- (5) 前年度以前の計画調書や申請書の様式を使用しないでください。
- (6) 記入にあたっては、活動の要点を具体的に明記し、活動内容を理解しやすいように簡潔に記入してください。ただし、活動プログラムの内容等が記入欄に記入しきれない場合には、「別紙参照」と記し、別紙を添付してください。

※ 本冊子には自然体験活動・読書活動の記入例を掲載しています。
他の分野の記入例は、子どもゆめ基金ホームページを参照してください。
https://yumekikin.niye.go.jp/jyosei/shinsei_kakikata.html

令和4年度子どもゆめ基金助成金申請書

① 令和3年 ○月 ○日

独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長 殿

② 郵便番号: 〒151-0000
 住所: 東京都△△区◇◇5-1
 ふりがな: よよぎのもりくらぶ
 団体名: 特定非営利活動法人 代々木の森クラブ
 代表者役職: 理事長
 ふりがな: しぶや たろう
 氏名: 渋谷 太郎

子どもゆめ基金助成金交付要綱第4条の規定に基づき、助成金申請書を提出します。

③活動計画表(その2)の活動数※1													
自然	1 件	科学	件	交流	件	社会奉仕	件	職場	件	総合・その他	件	読書	1 件
④ 活動計画表(その2)の活動数の合計										2 件			

※1 活動計画表(その2)は、参加者の募集ごとに作成してください。ただし、異なる参加者に対して同じプログラム内容を複数回実施する場合は、1件にまとめて活動計画表(その2)を作成してください。

⑤助成金交付申請額 合計	845,000円
--------------	----------

⑥	氏名	年齢	自宅住所	勤務先/所属先	連絡順
ふりがな 団体代表者	しぶや たろう 渋谷 太郎	40	東京都△△区◇◇3-1	NPO 法人■■の会(理事長) (株)○○商事(専務理事)	3
連絡先	電話:03-0001-0001 携帯:090-0000-0001		FAX :03-0001-0001 E-MAIL:		
ふりがな 連絡担当者①	さんぐう はしこ 参宮 橋子	56	東京都▽▽区◇◇5-6	◎◎(株)	1
連絡先	電話:03-0002-0002 携帯:090-0000-0002		FAX :03-0002-0002 E-MAIL:		
ふりがな 連絡担当者②	すぎなみ はなこ 杉並 花子	43	東京都△△区◇◇2-2	無職	2
連絡先	電話:03-0003-0003 携帯:090-0000-0003		FAX :03-0003-0003 E-MAIL:		

注1. 団体の役員及び事務局職員等のうち、申請書の内容及び経費について責任を持って対応できる方を必ず3名(家族を除く)記入してください。
 2. 記載された個人情報(「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用しません。

【その1】

- この様式は、申請団体ごとに1枚のみ作成してください。

項目		記入要領
①	年 月 日	申請書の提出年月日を記入。
②	郵便番号 住所	団体の所在地を記入。 郵便番号及び都道府県名も必ず記入 してください。
	団体名	助成金を受けようとする団体の 正式名称（法人格等の省略不可） とふりがなを記入。様式「その2（活動計画表）」、「その3（収支計画表）」についても同様です。 なお、採択された場合の助成金の振込口座名は、団体名と同一とします。
	代表者役職 氏名	団体内における代表者の役職名及び氏名を記入してください。
③	活動計画表（その2）の活動数	提出する活動計画表（その2）の数を 活動分野ごとに合計 して記入。
④	活動計画表（その2）の活動数の合計	上記 活動数の合計 を記入。
⑤	助成金交付申請額	様式「その3（収支計画表）」の「 子どもゆめ基金助成金交付申請額 」を 合計した額 を記入。
⑥	団体代表者	助成金を受けようとする団体の役員及び事務局職員（団体構成員）のうち、申請書の内容及び経費について責任をもって対応できる方で、<u>平日の日中に対応可能、かつ、電話・ファックス・メール等での連絡に対応できる方3名（家族を除く）</u> を連絡担当者とし、その氏名及び連絡先を記入。
	子どもゆめ基金 連絡担当者	
	連絡順	連絡順は、当機構より連絡する際の優先順位です。例えば、「1」の方と連絡が取れない場合は、「2」の方に連絡いたします。

(申請書)別紙様式1-A その2-1

様式A 活動計画表-1

※ 活動計画表(その2)は、参加者の募集ごとに作成してください。ただし、異なる参加者に対して同じプログラム内容を複数回実施する場合は、1件にまとめて活動計画表(その2)を作成してください。

(活動数合計 2 件中 1 件目)

団体名 特定非営利活動法人代々木の森クラブ

①	ふりがな	ちやれんじきゃんぷ
	活動名	チャレンジキャンプ

活動の分野 (いずれか1つに○を記入)		②活動の種類 (いずれか1つに○を記入)		③この活動における、過去5年間のゆめ基金助成金交付実績 (口内に○を記入)	
体験	<input type="radio"/> 自然体験活動	<input type="radio"/> 子どもを対象とする活動	<input type="radio"/> 平成29年度 <input type="radio"/> 平成30年度 <input type="radio"/> 令和元年度 <input type="radio"/> 令和2年度 <input type="radio"/> 令和3年度		
	科学体験活動	経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動			
	交流を目的とする活動	フォーラム等普及活動			
	社会奉仕体験活動	指導者養成			
	職場体験活動	資格取得			
総合・その他の体験活動	取得条件(口内に○を記入)				
読書	読書活動	<input type="radio"/> 任意	<input type="radio"/> 必須	<input type="radio"/> 令和3年度	
		<input type="radio"/> 不可能			

活動場所 (具体的に記入)	〇〇自然の家キャンプ場および●●川と▲▲の森周辺	東京	<input checked="" type="radio"/> 都	<input type="radio"/> 道	<input type="radio"/> 府	<input type="radio"/> 県
④参加者を募集する範囲(いずれか1つに○を記入)		募集地域(募集予定の都道府県名又は市区町村名を記入)				
<input type="radio"/>	24都道府県以上で募集(全国規模)					
<input type="radio"/>	全国規模以外で、都道府県下全域または、都道府県を越えて募集(都道府県規模)	東京都内全域				
<input type="radio"/>	上記以外で、市区町村単位または、複数の市区町村にて募集(市区町村規模)					
⑤募集対象 (口内に○を記入)	<input type="radio"/> 未就学児(~ 歳)	<input type="radio"/> 小学生(5~6年生)	<input type="radio"/> 中学生	<input type="radio"/> 高校生		
	<input type="radio"/> 大学生等	<input type="radio"/> 一般成人	<input type="radio"/> 保護者	<input type="radio"/> その他()		
⑥募集人数	子ども(高校生以下)	大人				
	60名 × 2回 = 延べ 120 名	名 × 回 = 延べ 名				
⑦募集方法 (口内に○を記入)	<input type="radio"/> チラシ(配布先: 都内の児童館、都内の図書館)	<input type="radio"/> ポスター(掲示先: 区民センター等)				
	広報誌(名称:)	その他()				
⑧参加費 (口内に○を記入)	<input type="radio"/> 有料【1人あたり 6,500 円】	<input type="radio"/> 無料				
⑨共催	予定なし (国又は地方公共団体と共催する活動は助成の対象となりません。)					

⑩活動期間	7月29日(金) ~ 8月20日(土) 参加者がいる活動期間(事前・事後指導含む)としてください。
-------	--

⑪参加者の安全対策健康管理	傷害保険への加入 (口内に○を記入)	<input type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない(理由:)
	安全対策: 事前の下見を行い、危険箇所や...	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 具体的に記入すること </div>	
	健康管理: 事前に健康調査票を配付し、毎朝健康チェックを行うとともに...		

助成金申請書

【その2-1(活動計画表)】

- 「その2」を複数作成する場合、様式左上(活動数合計〇〇件中〇〇件目)の部分には、作成する「その2」の総数のうち、何件目にあたるのかを記入してください。

項目	記入要領	備考
①活動名	募集要項・チラシ等、広報に使用する際の活動名を記入。 なお、この様式を複数枚作成する場合は、 活動名を同じものとせず、活動ごとに個別の活動名を記入 してください。「その3(収支計画表)」についても同様です。 また、特定のグループのメンバーを対象とした活動であると誤解を招くような活動名とならないよう注意すること。	
②活動の種類	合致するものを1つだけ 選択し、□内に○を記入。 活動に参加することで資格の取得が「可能」である場合は、取得条件が「任意」か「必須」のどちらかの□内に○を記入すること。 「指導者養成」を選択した場合は、全体がわかるような「カリキュラム表」を添付してください。 経済的に困難な状況にある子どもの健やかな育成を目的とした活動を行う場合は、「経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動」を選択してください。	Q1-23
③ゆめ基金 助成金交付実績	この活動が、過去に子どもゆめ基金助成金の交付を受けた実績のある活動の場合は、該当年度の□内に○を記入。 ※ 団体として助成金の交付を受けた実績があるかではなく、この活動が助成金の交付を受けていたかで判断して記入すること。 ※ 5年を超えて継続して行う活動について、見直しを行っている場合は、その見直し内容をA4用紙1枚程度に整理して添付してください。 (全国規模または都道府県規模の場合のみ)	Q1-32
④参加者を 募集する範囲	参加者の募集範囲に 合致するものを1つだけ 選択し、□内に○を記入。 ※ 団体のメーリングリストやホームページ等に掲載しただけでは、全国規模には該当しません。実際に参加することが予想される範囲としてください。	Q1-20
⑤募集対象	参加者として募集する対象をすべて選択し、「未就学児」・「小学生」を選択した場合は、年齢・学年も必ず記入すること。	
⑥募集人数	子どもと大人の人数をそれぞれ記入。 複数回実施する場合は、1回の活動で募集する人数に活動回数を乗じて、 延べ人数を算出 すること。	
⑦募集方法	該当する方法の□内に○を記入し、()内も必ず記入(複数選択可)。 項目にある募集方法以外の場合は、「その他」を選択し、募集方法を記入すること。	
⑧参加費	「有料」の場合は、1人あたりの参加費も必ず記入すること。	Q2-1
⑨共催	活動を実施する際に、共催する団体等があれば、団体名を記入してください(予定がない場合は、「予定なし」と記入)。	Q1-14 Q1-15
⑩活動期間	活動を実施する期間(参加者に対する事前・事後指導を含み、参加者のいる日が活動日)とし、活動の日程が決まっていない場合は、 空欄または未定とせず、「〇月上旬」のように記入。 指導者、スタッフのみで行う打合せや反省会等は活動期間に含みません。	Q2-10 Q4-2
⑪参加者の 安全対策・ 健康管理	傷害保険に加入しない場合は、その理由を記入すること。 活動の実施にあたり、参加者に対する安全対策及び健康管理をどのように計画しているのかを具体的に記入すること。 特に、野外活動を実施する場合には各プログラム毎にどのような安全対策を講じるのか具体的に記入すること。 ※ 活動の内容によっては、参加者に傷害保険への加入を義務づけるなどの対策を講じてください。	

(活動数合計 2 件中 1 件目)

団体名

特定非営利活動法人代々木の森クラブ

ふりがな	ちやれんじきやんぷ
活動名	チャレンジキャンプ

⑫この活動を計画した目的やねらい(200字程度を厳守すること)

都会に住む子どもたちに自然の中での活動を通して…

⑬活動の目的やねらいを

具体的なプログラム名とプログラム内容を対応させること

プログラム名と主なポイント(箇条書きで3つまで)

<具体的なプログラム名>	<主なポイント>
1、ネイチャーゲーム	課題は段々と複雑になるようにし、時間制限や前後のゲームとのつながりを設け問題解決への動機づけを強く意識させる。
2、課題解決オリエンテーリング	ひとりの知識では答えられないクイズを配置したり、チームの協力度による得点の高低を設けるなど、チームとしての連帯感を持たせる。
3、沢登り	水圧や滑りやすい岩登りなど危険が潜む自然へと挑む体験をさせるとともに、水生生物や自然現象の紹介などの要素も取り入れる。

月	日	曜日	時間	⑭プログラム内容(開始時間と終了時間をいれること)		
7	29	金	8:00~9:00	〇〇駅前集合、バス移動		
			9:30~10:30	現地到着、始まりの会		
			10:30~12:00	オリエンテーション、アイスブレイク		
			12:00	昼食		
			13:30~15:00	ネイチャーゲーム、テント設営		
			16:00	野外炊事(夕食)		
			19:00	入浴、就寝		
			30	土	9:00~16:00	課題解決オリエンテーリング(▲▲の森)、(昼食は弁当)
					16:00	野外炊事(夕食)
					19:00	入浴、就寝
31	日	9:00~16:00	沢登り(●●川上流)(昼食は弁当)			
		16:00~20:00	16:00 野外炊事(夕食)、キャンプファイヤー、入浴、就寝			
8	1	月 (3泊4日)	8:30~	8:30 テント撤収・後片付け		
			10:00~13:00	キャンプのまとめ、昼食		
			13:30	現地出発、バス移動		
			15:00	〇〇駅前解散		
				※ 8月17日(水)~20日(土)にも上記の内容で別の参加者を対象として実施する		

各プログラム毎の開始・終了時間を記入すること

⑮指導者名

渋谷太郎(当法人代表)【オリエンテーション、アイスブレイク、ネイチャーゲーム】
 ■■■■(〇〇県オリエンテーリング協会指導員)【課題解決オリエンテーリング】
 ■■■■(〇〇県山岳ガイド協会)【沢登り】

⑯当日活動に携わる指導者等の人数(実人数)

指導者	2名	協力者	13名
(うち、団体構成員の人数		5名)	

【その2-2(活動計画表)】

項 目	記 入 要 領
<p>⑫ この活動を計画した目的やねらい</p>	<p>この項目は、プログラム内容と同様に、審査において重要な視点になります。</p> <p>参加者に「何を伝えたいのか、または感じさせたいのか」「どんな力を身につけてほしいか」など、活動を計画した意図や活動の分野に合わせた「ねらい」を記入してください。</p> <p>記入にあたっては、200字程度にまとめて記入してください。</p>
<p>⑬ 活動の目的やねらいを達成するための具体的なプログラム名と主なポイント</p>	<p>この項目は、プログラム内容と同様に、審査において重要な視点になります。</p> <p>「プログラム内容」の欄に記載するプログラムから活動の目的やねらいを達成するための具体的なプログラムを3つまで選択し、そのプログラム名とプログラムを通じて参加者に気づいてほしいこと等を記入してください。</p>
<p>⑭ 時間・プログラム</p>	<p>プログラムの日程に沿って、プログラムの内容、曜日、時間帯などをできるだけ詳細に記入。</p> <p>また、参加者に対する事前・事後指導等を予定している場合も、記入すること。</p> <p>※一日の開始・終了時間だけでなく、各プログラム毎の開始・終了時間を記入してください。</p> <p>※プログラム内容を記入しきれない場合は、活動の概要のみを記入し、「別紙参照」と記し、詳細なプログラムを添付（様式の指定なし）してください。</p> <p>※交流分野の場合は、①誰と誰の交流を目的とした活動なのか、及び②意図的な交流の仕組みを明確に記入してください。</p>
<p>⑮ 指導者名</p>	<p>謝金の有無に関わらず指導者名と所属先、指導するプログラム名を記入すること（予定で可）。また、団体構成員が指導に当たる場合も同様。</p> <p>野外活動を実施する場合には、活動に係る資格を持っていることが望ましい。</p> <p>指導者資格の例:NEALインストラクター、キャンプインストラクター、RACインストラクターなど。</p> <p>NEAL(自然体験活動指導者)については、P. 120を参照してください。</p>
<p>⑯ 当日活動に携わる指導者等の人数</p>	<p>謝金の有無に関わらず、当日の活動に関わるすべての方を、役割ごとに実人数で記入（延べ人数にはしないこと）。</p> <p>なお、「指導者」「協力者」のうち、団体構成員の人数も記入してください。</p>

助成金申請書

		団体名	特定非営利活動法人代々木の森クラブ		
(活動数合計 2件中1件目)		活動名	チャレンジキャンプ		
区分		金額(円)	積算内訳 (積算根拠のない経費は、B. 助成対象外経費といたします)		
支出の部	①助成対象経費 A	謝金	232,000	指導者(当日) (10,000円×2名)×1日×2回 = 40,000 円 協力者(当日) 3,000円×8名×4日×2回 = 192,000 円	
		旅費	41,200	指導者(下見) 2,500円×2名×往復×1回 = 10,000 円 協力者2名(下見) 64km(往復)×25円×1台×1回 = 1,600 円 指導者(当日) 2,500円×2名×往復×2回 = 20,000 円 協力者13名(当日) 64km(往復)×25円×3台×2回 = 9,600 円	
		雑役務費	-	= 円	
		印刷製本費	24,000	募集チラシ	5円×4,000部 = 20,000 円
				ポスター	50円×80枚 = 4,000 円
		通信運搬費	62,500	募集チラシ郵送代	210円×200箇所 = 42,000 円
				事前資料郵送代	82円×120通 = 9,840 円
		借料損料	178,500	活動しおり郵送代	82円×(120通+10通) = 10,660 円
				バスレンタル料	1回分 = 150,000 円
		消耗品費	33,920	シーツクリーニング代	190円×(60名+15名)×2回 = 28,500 円
活動しおり用紙代	2,000円×1箱 = 2,000 円				
		活動しおりインク代	2,500円×1個 = 2,500 円		
		野外炊事用スポンジ・洗剤	150円×12個 = 1,800 円		
		ランタン用乾電池代	1,980円×10個 = 19,800 円		
		キャンプファイヤー用薪	3,500円×1回 = 3,500 円		
		オリエンテーリングマップ代	108円×20枚×2回 = 4,320 円		
	②経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動において特に助成の対象となる経費	-	= 円		
	小計 A	572,120	= 円		
	③助成対象外経費 B	937,500	指導者謝金(事前打合せ) 5,000円×2名×1日×1回 = 10,000 円 指導者謝金(当日超過分) 10,000円×2名×1日×2回 = 40,000 円 バスレンタル料(超過分) 90,000円×2回-150,000円 = 30,000 円 指導者・協力者旅費(事前打合せ) 500円(往復)×5名×1回 = 2,500 円 食費 5,400円×75名×2回 = 810,000 円 保険料 300円×(60名+15名)×2回 = 45,000 円		
	支出の総額 (A+B)	1,509,620	※ 収入の総額 と一致させること		
収入の部	④子どもゆめ基金助成金交付申請額	572,000	← 小計 A の千円未満を切り捨てる かつ、活動規模別限度額(市区町村規模:100万、都道府県規模:200万、全国規模:600万)を超えないこと		
	⑤参加費収入	780,000	参加者 6,500円×60名×2回 = 780,000 円		
	⑥補助金・寄附金等		= 円		
	⑦自己資金	157,620			
	収入の総額 (=支出の総額)	1,509,620	※ 支出の総額 と一致させること		

【その3(収支計画表)】

- 様式「その2(活動計画表)」が複数ある場合には、様式「その2(活動計画表)」ごとに作成すること。その際、様式左上(活動数合計〇〇件中〇〇件目)の部分は、様式「その2(活動計画表)」と同様に記入してください。
- 積算内訳は、経費ごとに単価と員数(部数等)を必ず記入し、内訳の合計は計算ミスのないようにしてください。用途が不明な場合や、積算根拠のない経費は、B. 助成対象外経費といたします。
- 経費の取扱い等については、募集要領(P. 19~25)及びQ&A(P. 93~100)を参照してください。

項目	記入要領	備考
①助成対象経費A	<p>助成対象経費とは、助成金の交付の対象となる経費のことです。</p> <p>なお、助成対象経費として認められた経費であっても、「経費の取扱いについて」で示した限度額を上回る場合には、その限度額までを記入し、その差額はB. 助成対象外経費に計上してください。</p> <p>謝金に関しては下記項目を分けて記入してください。 指導・協力者(当日2時間以上) 指導・協力者(当日2時間未満)</p>	Q1-43
②経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動において特に助成の対象となる経費	<p>活動の種類で「経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動」を選択した場合は、通常は助成対象外経費である参加者の交通費や宿泊費、飲食代等をこの欄に計上することができます。</p> <p style="color: red;">この欄に計上できる金額の合計は、参加者の実人数に活動日数と7千円/日を掛けた金額を上限とします。</p>	P. 12~13
③助成対象外経費B	<p>助成対象外経費とは、助成活動に係る経費ではあるが、助成の対象とはならない経費のことです。</p> <p>「経費の取扱いについて」で示した限度額を上回る部分についてもB. 助成対象外経費に計上してください。</p>	Q2-5
④子どもゆめ基金助成金交付申請額	<p>「小計A」と「活動規模別限度額(P. 7「7. 助成金の額」参照)」のいずれか低い額を上限とし、円単位、千円未満は切り捨てで記入。</p> <p style="color: red;">※ 2万円に満たない場合は助成の対象になりません。</p>	Q1-41 Q1-42
⑤参加費収入	<p>参加費を設定する場合は、必ず積算内訳も記入。</p> <p>※ 参加者から徴収する金額のみを記入してください。スタッフ(指導者、協力者等)から参加費を徴収する場合は「⑦自己資金」へ含めてください。</p>	Q2-2
⑥補助金・寄附金等	<p>地方公共団体等からの補助や他団体からの寄附など、子どもゆめ基金助成金以外の支援を見込んでいる場合は、当該団体名・支援の種類(補助金、助成金、協賛金、広告料収入など)及びその金額をすべて記入。</p> <p>※ 地方公共団体等からの補助金が、団体の実施するいくつかの活動に対して交付される場合は、当該助成活動に係る相当額を補助金として計上してください。</p>	Q2-3 Q2-4

(申請書)別紙様式1-A その2-1

様式A 活動計画表-1

※ 活動計画表(その2)は、参加者の募集ごとに作成してください。ただし、異なる参加者に対して同じプログラム内容を複数回実施する場合は、1件にまとめて活動計画表(その2)を作成してください。

(活動数合計 2 件中 2 件目)

団体名 特定非営利活動法人代々木の森クラブ

ふりがな おやこでたのしむよぎのもりのよみきかせかい
活動名 親子で楽しむ代々木の森の読み聞かせ会

活動の分野 (いずれか1つに○を記入)
活動の種類 (いずれか1つに○を記入)
この活動における、過去5年間のゆめ基金助成金交付実績 (口内に○を記入)
体験
自然体験活動
科学体験活動
交流を目的とする活動
社会奉仕体験活動
職場体験活動
総合・その他の体験活動
読書
読書活動
資格取得
可能(資格名:)
取得条件 (口内に○を記入)
任意
必須
不可能

活動場所 ○○図書館 東京 都・道・府・県
参加者を募集する範囲(いずれか1つに○を記入)
募集地域(募集予定の都道府県名又は市区町村名を記入)
24都道府県以上で募集(全国規模)
全国規模以外で、都道府県下全域または、都道府県を越えて募集(都道府県規模)
○ 上記以外で、市区町村単位または、複数の市区町村にて募集(市区町村規模) 東京都渋谷区
募集対象
○ 未就学児(3~5歳)
○ 小学生(1~3年生)
中学生
高校生
大学生等
一般成人
○ 保護者
その他()
募集人数
子ども(高校生以下) 60名 x 10回 = 延べ 600 名
大人 20名 x 10回 = 延べ 200 名
募集方法
○ チラシ(配布先: 渋谷区の幼稚園、保育園、児童館○箇所程度)
○ ポスター(掲示先: 都内のスーパー○箇所程度)
広報誌(名称:)
その他()
参加費
○ 有料【1人あたり 300円】※全10回分
無料
共催
予定なし (国又は地方公共団体と共催する活動は助成の対象となりません。)

活動期間 5月22日(日) ~ 2月19日(日)
参加者がいる活動期間(事前・事後指導含む)としてください。

参加者の安全対策健康管理
傷害保険への加入 (口内に○を記入)
○ する
しない(理由:)
安全対策: 事前に会場の下見をし、屋外での活動では...
健康管理: 特に、屋外で実施する場合は...
具体的に記入すること

助成金申請書

(活動数合計 2 件中 2 件目)

団体名	特定非営利活動法人代々木の森クラブ
-----	-------------------

ふりがな	おやこでたのしむよよぎのりのよみきかせかい
活動名	親子で楽しむ代々木の森の読み聞かせ会

この活動を計画した目的やねらい(200字程度を厳守すること)	
読み聞かせが育む…	

活動の目的やねらいを述べ、具体的なプログラム名とプログラム内容を対応させること	プログラム名と主なポイント(箇条書きで3つまで)
<具体的なプログラム名>	<主なポイント>
1、屋外での読み聞かせ	本の中に出てくるダンゴムシの食べ物、セミの幼虫の羽化、夕暮れの時に咲く花など、身近な公園内で観察できる自然に触れながら自然を扱う本のおもしろさへといざなう。
2、子どものころ読んだ本の読み聞かせ	お父さん・お母さんが子どものころ夢中になった本を、そのころの気持ちに戻って実際に読み聞かせをしてもらうことで、今の子どもたちへ本を読むおもしろさを継承する。
3、ワークショップ	親子で一緒に味わえる暖かく優しい本を読んだ後、それぞれ誰かからもらったモノではない大切な「おくりもの」は何かを絵に描き、参加者みんなと本の内容を共有する。

月	日	曜日	時間	プログラム内容(必ず開始時間と終了時間をいれること)
				5月～2月の毎月第4日曜日 各回テーマを決めて読み聞かせやパネルシアター等を実施(計10回)
5	22	日	10:00～12:00	①どうぶつの絵本の読み聞かせ…「やさしいライオン」「くちぶえをふくねこ」ほか
6	19	日	10:00～12:00	②七夕の読み聞かせ(紙人形も行う)…「きつねのたなばたさま」ほか
7	17	日	16:00～17:30	③屋外での読み聞かせ(代々木公園にて実施)…「なつによる」「ぼく、だんごむし」ほか
8	21	日	18:00～19:00	④夏の夜おばけの本の読み聞かせ…「くわずによぼう」ほか
9	18	日	10:00～12:00	⑤世界の本の読み聞かせ…「いしになったかりゅうど」「三びきのやぎのがらがらどん」ほか
10	16	日	10:00～12:00	⑥科学絵本の読み聞かせ(科学あそびや簡単な実験等も行う) …「ナノってなんなの? ～ベンジーとブルーノのぼうけん～」 「地面の下のいきもの」ほか
11	20	日	10:00～12:00	⑦子どものころ読んだ本の読み聞かせ …「SOS!あおいヨット」「走れ三年二組号」ほか
12	18	日	10:00～12:00	⑧クリスマスの読み聞かせ(パネルシアターも行う)…「てぶくろ」ほか
1	15	日	10:00～12:00	⑨お父さんの読み聞かせ…「だいくとおにろく」「おまえうまそうだな」ほか
2	19	日	10:00～12:00	⑩ワークショップ「じぶんのものがたりを絵に描いてみよう」 …「わすれられないおくりもの」ほか
				【以上、予定】

指導者名	参宮橋子(当法人会員)、神園ママの会会員1名【計10回】 ■■■■ (パネルシアター ○○座)3名【パネルシアター】
------	---

当日活動に携わる指導者等の人数(実人数)	指導者	4名	協力者	6名
	(うち、団体構成員の人数		1名)	

収支計画表

助成金申請書

		団体名	特定非営利活動法人代々木の森クラブ			
(活動数合計 2件中2件目)		活動名	親子で楽しむ代々木の森の読み聞かせ会			
区 分		金額(円)	積算内訳 (積算根拠のない経費は、B. 助成対象外経費といたします)			
支出の部	助成対象経費 A	謝金	140,000	指導者(当日) 5,000円×1名×10回 = 50,000 円 協力者(当日) 3,000円×3名×10回 = 90,000 円		
		旅費	36,500	指導者(会場下見) 500円(往復)×1名×1回 = 500 円 協力者(会場下見) 500円(往復)×2名×1回 = 1,000 円 指導者(当日) 500円(往復)×1名×10回 = 5,000 円 協力者(当日) 500円(往復)×6名×10回 = 30,000 円		
		雑役務費	30,000	パネルシアター〇〇座 10,000円×3名 = 30,000 円		
		その他の経費	印刷製本費	-	= 円	
			通信運搬費	21,000	募集チラシ・ポスター郵送代 210円×100箇所 = 21,000 円	
			借料損料	19,000	当日会場使用料 1,000円×10回 = 10,000 円 大型絵本借料 3,000円×3回 = 9,000 円	
			消耗品費	27,100	募集チラシ・資料用紙代 2,000円×2箱 = 4,000 円 募集ポスター用紙代 1,500円×1箱 = 1,500 円 募集チラシ・資料用インク代 2,500円×2個 = 5,000 円 クレヨン 350円×20個 = 7,000 円 画用紙 40円×80名×3枚 = 9,600 円	
			困難な環境にある子どもを対象とする活動において特に助成の対象となる経費	-	= 円	
		小 計 A		273,600		
			助成対象外経費 B	59,000	協力者(会場下見) 500円(往復)×4名×1回 = 2,000 円 協力者謝金(事前打合せ) 3,000円×3名×1回 = 9,000 円 指導者謝金(事前打合せ) 3,000円×1名×1回 = 3,000 円 パネルシアター〇〇座(超過分) 5,000円×3名 = 15,000 円 指導者・協力者旅費(事前打合せ) 500円(往復)×4名×1回 = 2,000 円 保険料(参加者) 300円×80名 = 24,000 円 保険料(指導者・協力者) 300円×10名 = 3,000 円 事前打合せ会場使用料 1,000円×1回 = 1,000 円	
支出の総額 (A+B)		332,600	※ 収入の総額 と一致させること			
収入の部	子どもゆめ基金助成金交付申請額	273,000	← 小計 A の千円未満を切り捨てる かつ、活動規模別限度額(市区町村規模:100万、都道府県規模:200万、全国規模:600万)を超えないこと			
	参加費収入	24,000	参加者 300円×80名 = 24,000 円			
	補助金・寄附金等	-	= 円			
	自己資金	35,600				
収入の総額 (=支出の総額)		332,600	※ 支出の総額 と一致させること			

団体名	特定非営利活動法人代々木の森クラブ
-----	-------------------

団体の種別 (□に○を記入)	<input type="checkbox"/> 公益社団法人	<input type="checkbox"/> 公益財団法人	<input type="checkbox"/> 一般社団法人	<input type="checkbox"/> 一般財団法人
	<input checked="" type="checkbox"/> 特定非営利活動法人		<input type="checkbox"/> 学校法人	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人
	<input type="checkbox"/> 民間企業	<input type="checkbox"/> 法人格なし	<input type="checkbox"/> その他()	
団体URL	http://www.△○×□.jp/			
団体設立年月	西暦 2001 年 10 月	①団体の活動範囲	東京都内	
②団体が管理・運営する施設(※指定管理施設を含む)	△△野外センター(所有) △△区立自然の家(指定管理)△△区			
団体設立の経緯・沿革	平成13年、代々木地区及び渋谷地区の11の子ども会、NPO法人○○自然塾、代々木地区の○○親父の会の連合体として発足。 平成22年、東京都より認証を受け、特定非営利活動法人を発足。			
団体概要	<p><目的> 東京都内の子どもを対象とした体験活動を企画・運営し、子どもの健全な育成に努めている。</p> <p><構成> 理事長以下、役員及び事務局職員15名の団体構成員を有する。</p>			
③活動実績	令和3年度(見込)	令和2年度	令和元年度	
	夏休み自然体験活動2021 チャレンジキャンプ2021 (子どもゆめ基金助成活動)	夏休み自然体験活動2020 チャレンジキャンプ2020 (子どもゆめ基金助成活動)	夏休み自然体験活動2019	
④団体の財政状況	総収入	2,610,000円	2,880,000円	580,000円
	総支出	2,610,000円	2,880,000円	580,000円
	当期損益	0円	0円	0円
	子どもゆめ基金助成金の交付実績	・チャレンジキャンプ2020 1,750,000円	・チャレンジキャンプ2019 1,850,000円	なし
その他の補助金・助成金の交付実績(交付団体)	○○補助金 80,000円 (△△区)	○○補助金 100,000円 (△△区)	○○補助金 100,000円 (△△区)	

注1) 活動実績において、過去3年間に子どもゆめ基金助成活動を実施していた場合は、必ず記入してください。

「令和3年度(見込)」は、交付決定を受けている活動に限り、活動名と交付決定額を記入してください。

【その4(団体概要)】

- この様式は、申請団体ごとに1枚のみ作成してください。複数件申請する場合は、件数分をコピーし、同封してください。

下記以外の項目については、様式の指示に従って記入してください。

項 目	記 入 要 領
① 団体の活動範囲	団体が普段、経常的に活動を行っている地域名を記入。
② 団体が管理・運営する施設（※指定管理施設を含む）	団体が管理・運営している施設名を記入。 <u>管理・運営を行っている施設がある場合は、管理形態（①所有②委託③指定管理④借用等）を必ず記入してください。</u> <u>公共施設の業務委託・指定管理を受けている場合は施設の設置者も記入すること。</u>
③ 活 動 実 績	過去3カ年の主な活動実績を、子どもゆめ基金助成活動に限らず記入すること。
④ 団体の財政状況	団体の財政状況を記入。子どもゆめ基金の助成を受けて実施した活動がある場合は、必ず記入してください。子どもゆめ基金以外でも補助金や助成金の交付を受けた実績がある場合は、その金額と交付団体名も記入すること。

※特に注意していただきたい点

- ・ ②他の機関・団体等から委託（指定管理）を受けている施設も記入する。
- ・ ③ゆめ基金の助成活動だけではなく団体として他の活動をしている場合はその活動も記入する。
- ・ ④子どもゆめ基金以外でも補助金や助成金を受けている場合はその金額・交付団体名も記入する。

(記入例)
指導者養成カリキュラム表

※ 活動の種類で「指導者養成」を選択した場合は、申請書と本用紙を提出して下さい。
作成例を参照し、指導者養成事業の全体が分かるようなものを作成してください。

団体名	特定非営利活動法人 代々木の森クラブ		活動名	○○○○○○○	
養成対象者	大学生、PTA会員、学校教諭、野外活動に関心のある人 ※この講座でどのような参加者を募集し養成するのか、養成する対象者を明記してください。				
項目	時間数	題名	講師名	ねらい	内容
講義	2時間	青少年教育の理解	○○大学 ○○学部 教授 ○○ ○○氏	青少年の現状と課題を理解する。	・各種データ等により、青少年の現状について学び、課題を把握する
講義	2時間	体験活動の理解	○○大学 ○○学部 教授 ○○ ○○氏	体験活動の理念と意義を理解する	・体験活動の意義や、教育的効果について学ぶ ・体験活動事例、教育的効果の事例について学ぶ
講義 実習	5時間	体験活動の指導法	○○大学 ○○学部 教授 ○○ ○○氏	体験活動の基礎的な指導方法や目的に応じた指導法を理解する	・指導者としての心構えについて理解を深めるとともに、参加者を理解する方法についても学ぶ ・目的に応じた指導法を学ぶ
講義 実習	5時間	体験活動の基礎技術	NPO法人○○代表 ○○ ○○氏	体験活動における基礎的な知識・技術を理解し、習得する	・指導者としての基礎的な心構えや活動プログラムの指導法を学ぶ ・実際に指導を体験する
講義	2時間	安全指導と安全管理	○○協会 理事 ○○ ○○氏	体験活動における安全指導の視点や安全計画の立案について理解する	・体験活動における基本的な安全管理と危機管理について学ぶ
実習	3時間	救急救命の技術	○○消防署 ○○ ○○氏	救命救急法の基本技術を理解する	・体験活動における救命救急の基本を学ぶとともに、救命救急法の実習を行う
演習	3時間	プログラムの企画・立案	○○大学 ○○学部 教授 ○○ ○○氏	ねらいを意識した体験活動の企画・立案する	・プログラムの組み立てを理解するとともに実際にプログラムを考案する
講義 演習	2時間	プログラムの評価	○○大学 ○○学部 教授 ○○ ○○氏	フィードバックをとおして、多角的な評価を受ける	・企画、立案したプログラムの発表とフィードバックを行い、意見交換を行う
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p><作成にあたっての留意事項></p> <p>(1) 活動の種類で指導者養成を選択した場合は、申請書と一緒に「カリキュラム表」を提出して下さい。 この作成例のように、指導者養成事業の全体が分かるようなものを作成して下さい。</p> <p>(2) 「養成対象者」の欄には、この講座でどのような参加者を募集し養成するのか、養成する対象者を明記してください。</p> </div>					
合計 時間数:	24時間				

令和4年度子どもゆめ基金助成金申請書

令和3年 月 日

独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長 殿

郵便番号: 〒
住 所:
ふりがな
団 体 名:
代表者役職:
ふりがな
氏 名:

子どもゆめ基金助成金交付要綱第4条の規定に基づき、助成金申請書を提出します。

活動計画表(その2)の活動数※1													
自然	件	科学	件	交流	件	社会奉仕	件	職場	件	総合・その他	件	読書	件
活動計画表(その2)の活動数の合計												件	

※1 活動計画表(その2)は、参加者の募集ごとに作成してください。ただし、異なる参加者に対して同じプログラム内容を複数回実施する場合は、1件にまとめて活動計画表(その2)を作成してください。

助成金交付申請額 合計 , 000円

	氏 名	年齢	自 宅 住 所	勤務先/所属先	連絡順
ふりがな 団体代表者					
連絡先	電話: 携帯:		FAX : E-MAIL:		
ふりがな 連絡担当者①					
連絡先	電話: 携帯:		FAX : E-MAIL:		
ふりがな 連絡担当者②					
連絡先	電話: 携帯:		FAX : E-MAIL:		

- 注1. 団体の役員及び事務局職員等のうち、申請書の内容及び経費について責任を持って対応できる方を必ず3名(家族を除く)記入してください。
2. 記載された個人情報は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用しません。

(申請書)別紙様式1-A その2-1

様式A 活動計画表-1

※ 活動計画表(その2)は、参加者の募集ごとに作成してください。ただし、異なる参加者に対して同じプログラム内容を複数回実施する場合は、1件にまとめて活動計画表(その2)を作成してください。

(活動数合計 件中 件目)	団体名
ふりがな	
活動名	

活動の分野 (いずれか1つに○を記入)		活動の種類 (いずれか1つに○を記入)		この活動における、過去5年間のゆめ基金助成金交付実績 (口内に○を記入)	
体験	<input type="checkbox"/>	自然体験活動	<input type="checkbox"/>	子どもを対象とする活動	平成29年度
	<input type="checkbox"/>	科学体験活動	<input type="checkbox"/>	経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動	
	<input type="checkbox"/>	交流を目的とする活動	<input type="checkbox"/>	フォーラム等普及活動	令和元年度
	<input type="checkbox"/>	社会奉仕体験活動	<input type="checkbox"/>	指導者養成	
	<input type="checkbox"/>	職場体験活動	<input type="checkbox"/>	資格取得	可能(資格名:)
<input type="checkbox"/>	総合・その他の体験活動	取得条件 (口内に○を記入)			
読書	<input type="checkbox"/>	読書活動	<input type="checkbox"/>	任意	
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	必須	
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	不可能	

活動場所 (具体的に記入)					都・道・府・県			
参加者を募集する範囲(いずれか1つに○を記入)		募集地域(募集予定の都道府県名又は市区町村名を記入)						
<input type="checkbox"/>	24都道府県以上で募集(全国規模)							
<input type="checkbox"/>	全国規模以外で、都道府県下全域または、都道府県を越えて募集(都道府県規模)							
<input type="checkbox"/>	上記以外で、市区町村単位または、複数の市区町村にて募集(市区町村規模)							
募集対象 (口内に○を記入)	<input type="checkbox"/>	未就学児(~ 歳)	<input type="checkbox"/>	小学生(~ 年生)	<input type="checkbox"/>	中学生	<input type="checkbox"/>	高校生
	<input type="checkbox"/>	大学生等	<input type="checkbox"/>	一般成人	<input type="checkbox"/>	保護者	<input type="checkbox"/>	その他()
募集人数	子ども(高校生以下) 名 × 回 = 延べ 名			大人 名 × 回 = 延べ 名				
	募集方法 (口内に○を記入)	<input type="checkbox"/>	チラシ(配布先:)	<input type="checkbox"/>	ポスター(掲示先:)			
<input type="checkbox"/>		広報誌(名称:)	<input type="checkbox"/>	その他()				
参加費 (口内に○を記入)	<input type="checkbox"/>	有料【1人あたり 円】				<input type="checkbox"/>	無料	
共催	(国又は地方公共団体と共催する活動は助成の対象となりません。)							

活動期間	月 日() ~ 月 日() 参加者がいる活動期間(事前・事後指導含む)としてください。
------	--

参加者の安全対策健康管理	傷害保険への加入 (口内に○を記入)	<input type="checkbox"/>	する	<input type="checkbox"/>	しない(理由:)
	安全対策:				
	健康管理:				

		団体名		
(活動数合計 件中 件目)		活動名		
	区分	金額(円)	積算内訳 (積算根拠のない経費は、B. 助成対象外経費といたします)	
支出の部	助成対象経費 A	謝金		
		旅費		
		雑役務費		
		その他の経費	印刷製本費	
			通信運搬費	
			借料損料	
	消耗品費			
	経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動において特に助成の対象となる経費			
	小計 A			
	助成対象外経費 B			
支出の総額 (A+B)			※ 収入の総額 と一致させること	
収入の部	子どもゆめ基金 助成金交付申請額		← 小計 A の千円未満を切り捨てる かつ、活動規模別限度額(市区町村規模:100万、都道府県規模:200万、全国規模:600万)を超えないこと	
	参加費収入			
	補助金・寄附金等			
	自己資金			
収入の総額 (=支出の総額)			※ 支出の総額 と一致させること	

団体名	
-----	--

団体の種別 (□に○を記入)	<input type="checkbox"/> 公益社団法人	<input type="checkbox"/> 公益財団法人	<input type="checkbox"/> 一般社団法人	<input type="checkbox"/> 一般財団法人
	<input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人		<input type="checkbox"/> 学校法人	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人
	<input type="checkbox"/> 民間企業	<input type="checkbox"/> 法人格なし	<input type="checkbox"/> その他()	
団体URL				
団体設立年月	西暦	年	月	団体の活動範囲
団体が管理・運営する施設(※指定管理施設を含む)				
団体設立の経緯・沿革				
団体概要	<目的>			
	<構成>			
活動実績	令和3年度(見込)	令和2年度	令和元年度	
団体の財政状況	総収入	円	円	円
	総支出	円	円	円
	当期損益	円	円	円
	子どもゆめ基金助成金の交付実績			
	その他の補助金の交付実績			

注) 活動実績において、過去3年間に子どもゆめ基金助成活動を実施していた場合は、必ず記入してください。

「令和3年度(見込)」は、交付決定を受けている活動に限り、活動名と交付決定額を記入してください。

指導者養成カリキュラム表

※ 活動の種類で「指導者養成」を選択した場合は、申請書と本用紙を提出して下さい。
 作成例を参照し、指導者養成事業の全体が分かるようなものを作成してください。

団体名						活動名				
養成対象者		※この講座でどのような参加者を募集し養成するのか、養成する対象者を明記してください。								
項目	時間数	題名	講師名	ねらい	内容					
合計		時間数:								

